



前期終業式！

今日で、前期終了です。夏休み明けてから約3週間、新型コロナウイルス感染症拡大の中、前期のまとめを行ってきました。2日間の個人懇談会では、前期のお子様の様子や成長を担当から伝えさせて頂きました。保護者の皆様と共有させて頂いたことを、後期の教育活動に生かしていきたいと思えます。

さて、本日前期終業式をリモートで行いました。前期終業式は次のような流れです。

- ① 開式の言葉 ② 学校長講話 ③ 前期の振り返り発表 ④ 校歌静聴 ⑤ 閉式の言葉

学校長講話では次のような話をしました



皆さん、おはようございます。今日は、前期の終業式です。前期の目標達成に向けて、精一杯の努力をしましたか？努力をしたけれど、まだ成果が出ていないという人もいるかもしれません。目には見えていないかもしれませんが、「努力の壺」には、確実に努力はたまっています。続けて、努力をしていきましょう。

さて、前期終業式にあたって、「**五感を澄ませて！**」というお話をします。「五感」とは、次の5つの感覚を言います。

- ・視覚（ものが見えること）
- ・聴覚（音が聞こえること）
- ・触覚（肌で感じること）
- ・味覚（味が分かること）
- ・嗅覚（においが分かること）

ところで、皆さんはヘレン・ケラーという人を知っていますか。メディアルームにも伝記の本があります。「三重苦を乗り越えた奇跡の人」とも言われています。三重苦とは、3つの苦しみという意味で、「耳が聞こえない」「目が見えない」したがって、「話せない」ということです。そんなヘレン・ケラーが次のようなことを言っています。

森の中を長い間歩いてきた友人に、ヘレンは「森の中にはどんなものがあつたのか」と尋ねました。すると、友人は「別に何も」と答えたのです。その時に感じたことです。「一時間も森の中を散歩して『別に何も』なんてどうしたら言えるのだらう。目の見えない私にもたくさんものを見つけることができます。左右対称の繊細な葉、白樺のなめらかな木肌、荒々しくゴツゴツした松の木の樹液……。目の見えない私から、目の見える皆さんにお願いがあります。明日、突然目が見えなくなってしまうかのように思って、すべてのものを見てください。そして、明日、耳が聞こえなくなってしまうかのように思って、人の歌声を、小鳥の声を、オーケストラの力強い響きを聞いてください。明日、触覚（触った感覚）がなくなってしまうかのように思って、あらゆるものに触ってみてください。明日、嗅覚（におい）と味覚（舌で感じる味）を失うかのように思って、花の香りをかぎ、食べ物を一口ずつ味わってください。五感を最大限に使ってください。世界があなたに見せてくれているすべてのもの、喜び、美しさを讃えましょう。」

（「ハーバードの人生を変える授業」だいわ文庫）

ヘレンは、目が見えない、耳が聞こえない、話せない状況ではありますが、多くのことを見たり、聞いたりしていたようです。目が見えなくても、耳が聞こえなくても、彼女が持っている心の感性で物を見ていたのでしょう。ヘレンが言っています。「目と耳と触覚と嗅覚、味覚、私たち人間が持っているすべての感覚を活用して、私たちの世界をしっかりと見ようではありませんか、感じようではありませんか」と。

身の回りに様々な秋を感じる季節になりました。紅葉をはじめ、しっかり目で秋の自然を見て、秋の虫の鳴き声に耳を澄ませ、庭や畑で土の感覚を肌で感じ、自然の中で秋の匂いを嗅ぐ、そして秋の作物を美味しく楽しむ、秋休みにはそんな一日があってもよいのかもしれませんがね。デジタル社会と言われる現代にあつて、生きた本物に五感で出会うことは、感性豊かな皆さんの時代には、とても大切な体験だと思えます。

以上で、令和4年度前期終業式にあつてのお話を終わります。

続いての前期振り返り発表では、代表として2年2組菅野琉衣さん、3年1組橋場友香さん、4年1組松田唯愛さんの3名が、前期に頑張ったことや思いを発表しました。3人とも緊張した面持ちでしたが、発表原稿を見るだけでなく、カメラに目を向けながら、聴いている人を意識して一生懸命話しました。発表が終わると各教室から大きな拍手が聞こえてきました。



終業式の最後は、校歌静聴です。今回は、音楽室をリモートでつないで、石田教諭による生のピアノ演奏で行いました。（ということで、5年1組は終業式を音楽室で行いました。）全校のみんながそれぞれの教室、場所で姿勢良く校歌を聴く姿が見られました。

本日の終業式は、5年2組が学級閉鎖の措置をとっているため、全校児童が学校にそろっての実施はできませんでしたが、5年2組の児童もリモートで各家庭から参加できるようにしました。（感染症対策をしっかり講じているところですが、昨日、5年2組は、欠席者が複数名見られたため、学校医の指導の下、本日、学級閉鎖の措置を取りました。）学級閉鎖の決定とともに、急な措置でしたが5年2組は、タブレットを持ち帰ることとしました。持ち帰ることで終業式にリモートでの参加がしやすくなると考えたからです。5年2組の保護者の皆様のご協力もあり、5年2組も約20人の児童が参加することができました。学級閉鎖は、残念なことでしたが、よりよい教育活動を展開するための今後のタブレット活用を考える一つの契機になりました。今後も、よりよい教育活動を展開していくため、リモートやタブレットの活用について、しっかり検討、実施していきます。

いつもと違う全校児童の集まり方での終業式でしたが、みんなでしっかりと前期の振り返りを行うことができたと思います。

前期の教育活動をふい返って



紹介式・前期始業式



入学式



フレンドリータイム



1年生を迎える会



5月参観日と学校説明会



運動会



前期教育実習



創る科参観日



水泳学習



高学年味噌造り体験



前期終業式

個々に掲載しているのは、前期の教育活動のほんの一部です。秋休みに前期の学校での出来事をお子様とぜひお話しいただけたらと思います。後期もどうぞよろしくお願いいたします。